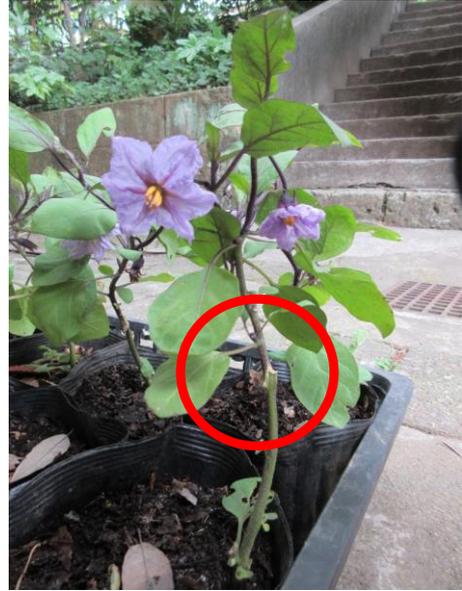




江戸東京野菜栽培記録 ～寺島なす編～



平成28年5月6日



寺島なすの苗は、三鷹市の農家の方に作っていただきました。接木苗といって、2種類の植物の特性を活かすために茎をつないで加工してある特殊な苗です。病気に強く根張りのいいかぼちゃの苗（下）に寺島なすの苗（上）を接いでいます。つなぎ目の色の違いがわかりますか？（写真右）

平成28年5月9日（委員会活動②）

平成28年5月18日



小雨が降る中、委員会の時間に定植しました。既に花が2～3個咲いていました。なすは開花後20～25日で収穫できるそうです。苗がしっかりしてきたところで、太めの支柱を立てました。



平成28年5月30日



平成28年6月2日



なすが実りました。寺島なすは卵位の大きさに収穫できますが、最初の実は株の成長とのバランスをとるために小さいうちに収穫します。皮がつやつやで張りがあるものが食べごろです。

平成28年6月15日



枝がだいぶ伸びてきました。主枝と脇芽2本の3本仕立てにしています。次々と花が咲くので、大きくなったものから順次収穫していきます。つやつやの実が美味しそうです。

平成28年6月24日



平成28年6月29日



株がだいぶ大きくなり、枝も太くしっかりしてきました。花がたくさん咲いているので、一株に2～3個の実がついています。

平成28年7月11日（委員会④）

平成28年7月14日



寺島なすは、背丈はあまり大きくなりず、横に枝が広がります。なすの重みで枝が下がってきたので、支柱を立てて枝を固定しました。（写真左）

雨が續くと、あっという間に実が大きくなります。3日間でこんなに収穫できました。（写真右）